

ユネスコ作文最優秀賞受賞

11月23日（木）旭川勤労者福社会館 大会議室において「第33回 小中学生ユネスコ作文コンクール」の表彰式が行われました。これは「21世紀の社会を担う児童生徒が、寛容と共生の心を持ち、世界の平和、自然や環境、文化を大切にしようというユネスコ精神に理解を深めたくましく育てほしい」というねらいのもと旭川市ユネスコ協会が主催しているコンクールです。

このコンクールにおいて、**本校3年女子生徒**が見事に「**中学校の部 最優秀賞**」に輝き、表彰式に参加し、賞状と副賞を受賞してきました。

作文のタイトルは「**世界中の子供たち**」で、小学生の頃、児童クラブでユネスコ募金活動をお手伝いしたことから、募金で集まったお金はどう使われるのかという疑問をきっかけに、ユネスコの活動や海外で貧困に苦しみ学校にも行けない子ども達、加えて日本の貧困問題についてもいろいろと調べて分かったことが書かれています。

そしてその問題を解決するためには、このような現状について人々がもっと関心をもつこと、少しでもボランティアや募金に協力することが必要だと訴えています。

最後に、自分がいかに恵まれているかを再認識するとともに、周りの人々に感謝し、世界中の子供たちが楽しく学校に通えることを願って、自分も募金などを協力したいと締めくくられています。

歴史と伝統のある、このユネスコ作文の最優秀賞を受賞でき、本当におめでとうございます。後日、表彰伝達式で、全校生徒みんなで栄えある受賞を讃えたいと思います。

